森六グループ　気候変動リスク・機会に関する分析（2026年11月時点）

【時間軸】中期:4～10年（2030年）　長期:11～25年（2050年）

リスク項目			事業インパクト			財務インパクト		対応	該当WEBサイト
大分類	中分類	小分類	時間軸	リスク	機会	評価:リスク	評価:機会		
移行リスク （1.5～2℃シナリオに基づいて分析）	政策・規制	炭素価格（炭素税） 排出権取引	中期～長期	【グループ共通】 ●炭素税が導入された場合の税負担コスト発生 ●排出権取引の対象企業となった場合の対応コスト発生 ●適用範囲が広がることでの、エネルギー価格の不安定化	【グループ共通】 ●規制遵守による市場での信頼性や競争力の向上	大	中	・再生可能エネルギーの導入拡大 ・省エネルギー効果の高い設備への更新 ・エネルギーリサイクルの促進/有効利用の適用拡大	GHG排出量削減 https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/climatic_change/index.html 資源利用効率の把握 https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/resource_recycling.html
		プラスチック規制	中期～長期	【グループ共通】 ●リサイクル規制による特定材料の使用禁止と管理対象化 【樹脂加工製品事業】 ●プラスチック規制強化による既存プラスチック製品の需要減少 ●バイオマスプラスチック等への材料切替に伴うコスト増加 【ケミカル事業】 ●プラスチック規制強化による樹脂関連商品の販売減少	【樹脂加工製品事業】 ●プラスチック代替材料を用いた新規部品の開発機会の拡大 ●プラスチックリサイクルの拡大による資源利用効率の向上 【ケミカル事業】 ●バイオマスプラスチック等の環境配慮型材料の需要・販売機会の拡大 ●リサイクルビジネス機会の拡大 ●ケミカルソリューションの提供によるバリューチェーンでの収益増加	大	大	・マテリアルリサイクルの取り組み推進 →廃プラスチックのマテリアルリサイクル ・環境配慮型商材の拡販 ・環境設計ガイドラインの策定（減量や分解・分別の容易化等）による環境にやさしい設計を促進 ・ノンコート肥料の販売拡大	マテリアルリサイクル https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/resource_recycling.html
		再エネ政策	中期～長期	【グループ共通】 ●再生可能エネルギー導入による投資コスト増 ●エネルギー市場の構造変化による、エネルギー価格の不安定化 ●技術進化による、過去の投資の陳腐化	【グループ共通】 ●再生可能エネルギー活用によるエネルギー効率向上・コスト削減 ●社会的責任や企業の持続可能性向上による、ステークホルダーとの信頼関係構築 ●脱炭素ニーズの高まりによる環境配慮型製品・サービスの提案機会拡大（※27年度に削除する。2026年11月10日サステナ部内mtg）	中	中	・再生可能エネルギーの導入拡大 ・自社拠点での蓄電池運用 →太陽光由来の再エネ有効活用と独自運用 ・風力発電（PPA）の導入	エネルギー消費量（Scope1,2の算定基礎）／再生可能エネルギーの導入 https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/climatic_change/index.html
		省エネ政策	中期～長期	【グループ共通】 ●省エネ設備への切り替えによる投資コスト増	【グループ共通】 ●エネルギーコスト低減による競争力向上 ●環境への配慮やエネルギー効率の向上による市場競争力向上 ●社会的責任や企業の持続可能性向上による、ステークホルダーとの信頼関係構築 【樹脂加工製品事業】 ●コージェネレーション設備導入によるエネルギーの効率化	中	中	・製造プロセスの改善や省エネルギー効果の高い設備への更新によるエネルギー使用効率向上 ・CO2排出量削減目標値の設定 ・太陽光発電および蓄電池の導入によるエネルギー消費効率の向上 →四季や構内状況に合わせた独自運用 ・コージェネレーション設備の活用	CO2排出量削減目標値の設定～指標と目標 https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/climatic_change/index.html 再生可能エネルギーの導入 https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/climatic_change/index.html コージェネレーションシステム https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/resource_recycling.html
	技術	低炭素技術の進展	中期～長期	【グループ共通】 ●低炭素製品への移行による既存製品の需要低下 ●低炭素排出製品・サービスなどへの転換のための技術開発や新技術の利用、先行設備投資によるコスト増加 【樹脂加工製品事業】 ●低炭素技術・設備の導入に伴う開発・設備投資コストの増加	【グループ共通】 ●樹脂製品加工事業・ケミカル事業の協業により、環境配慮型材料開発を行うことでの環境配慮型製品・材料の需要の取り込み 【樹脂加工製品事業】 ●環境配慮型製品の開発・展開により低炭素製品への需要が増加することでの収益増加 ●EV化に伴うビジネス機会の拡大 ●低炭素設備の導入によるエネルギー利用効率向上とコストの削減 【ケミカル事業】 ●環境配慮型材料開発による需要・販売機会の増加 ●低炭素製品の供給や販売による競争力強化 ●持続可能なサプライチェーンの構築	大	大	・環境配慮型材料開発とそれを利用した部品（試作品）の製造 ・太陽光発電の増強・拡張 ・自社拠点での蓄電池運用 ・コージェネレーション設備の活用 ・低炭素製造設備（油圧式から電気）への切り替え ・蒸気ボイラーの重油燃料からガスへのシフト ・環境配慮型商材の拡販 ・カーボンナノチューブの展開 ・化石燃料や電力消費の削減に繋がる発電インク技術の適用研究	コージェネレーションシステム https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/resource_recycling.html カーボンナノチューブ https://www.moriroku.co.jp/business/chemicals/business_field/enpla/cnt/index.html 環境配慮型～リサイクルカーボン https://www.moriroku.co.jp/business/chemicals/business_field/enpla/recycled_carbon.html ～セルロース強化 https://www.moriroku.co.jp/business/chemicals/business_field/enpla/cellulose.html ～環境配慮材 https://www.moriroku.co.jp/business/chemicals/business_field/enpla/eco_friendly_materials.html
	市場	エネルギーコストの変化	中期～長期	【グループ共通】 ●原材料価格の上昇 ●エネルギー使用量が多い製造プロセスにおける生産コストの上昇と、生産プロセス全体へのコスト影響 ●低炭素化技術開発・設備導入による生産コストの増加 ●再生可能エネルギーの普及に伴う、電力価格の上昇	【グループ共通】 ●効率的な生産プロセス・流通プロセスや輸送手段によるコスト削減 ●エネルギー高効率の製造プロセスや、材料開発による市場競争力の強化 ●エネルギー供給の多様化によるエネルギーの安定供給	大	大	・自社拠点での太陽光自家発電導入 ・自社拠点での蓄電池導入 ・コージェネレーション設備の活用 ・省エネルギー効果の高い設備への更新 ・エネルギー市場動向のモニタリングとエネルギー価格ヘッジの検討	自社拠点での太陽光自家発電導入～ 再生可能エネルギーの導入 https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/climatic_change/index.html コージェネレーションシステム https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/resource_recycling.html
		原材料コストの変化	中期～長期	【グループ共通】 ●原材料コストの上昇に伴う生産コストの上昇 ●代替材料への切り替えによる原材料価格の上昇 ●重要な原材料の供給不足や物流の問題の発生による生産遅延や生産量の制限発生	【グループ共通】 ●代替材料の開発や再生可能な材料の導入による、新製品や製造プロセスの開発 ●原材料使用量の削減やリサイクル、代替材料の検討によるコストの削減	大	大	・CSR調達ガイドラインの策定と展開 ・全拠点でのCSR調達活動（サプライチェーンの可視化と評価） ・未利用資源を活用した材料の開発 ・サプライチェーンの多角化 ・新たな製造技術/プロセスの導入 ・製造部品の薄肉化/軽量化による樹脂使用量の減量化拡大	CSR調達ガイドライン～ https://www.moriroku.co.jp/sustainability/social/procurement/index.html 未利用資源～ https://www.moriroku.co.jp/business/chemicals/manufacturing/moriroku_manufacturing/index.html 薄肉化 https://www.moriroku.co.jp/business/technology/solution/lightweight.html
		製品とサービス	中期～長期	【グループ共通】 ●規制強化や顧客ニーズの変化によるプラスチック製品の需要減少 ●資源循環型材料の開発遅延による市場機会の損失 ●原材料調達・物流の停滞による製品供給への影響 ●新規規参入や既存企業による価格競争や付加価値の向上等、競争の激化	【樹脂加工製品事業】 ●サプライチェーン全体での環境負荷削減による持続可能な調達網の構築 ●自動車部品を含む幅広いプラスチック製品開発による収益増加 ●新市場・新規顧客の開拓による事業拡大・多角化 【ケミカル事業】 ●資源循環型材料（低炭素、生分解性やバイオマスプラスチック材料など）の開発による収益増加 ●顧客ニーズの変化への対応による販売機会の拡大 ●ヘルスケアや農業・食料、インフラ分野等、顧客の気候変動への適応ニーズに対応する新たな製品・サービスの供給による収益増加	中	大	・未利用資源を活用した材料および部品の開発 （環境配慮型製品開発：環境材30%のプラスチックを用いた部品開発） ・プラスチック資源循環法に則ったガイドライン策定 ・加飾技術開発の進化による環境負荷低減 ・マテリアルリサイクルの促進 ・サプライチェーンの可視化と評価（CSR調達）	未利用資源～ https://www.moriroku.co.jp/business/chemicals/manufacturing/moriroku_manufacturing/index.html 加飾技術開発～ https://www.moriroku.co.jp/business/technology/decoration/index.html 最新開発テーマ https://www.moriroku.co.jp/business/technology/theme/index.html マテリアルリサイクル https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/resource_recycling.html
	評判	外部ステークホルダーの評判変化	中期～長期	●環境関連の情報開示不足による評判・評価の低下 ●環境への配慮が不十分と評価された場合の、顧客の取引制限による収益減少、調達資金の減少、資金調達コストの増加	【グループ共通】 ●環境への対応や十分な情報開示を行うことでの信頼性向上 ●サプライチェーン全体で気候変動対応に取り組むことによる事業継続力と市場価値の向上 ●プラスチック廃棄物削減やリサイクルへの取り組みによる持続可能なビジネスモデルの構築や新たな市場機会の創出 【樹脂加工製品事業】 ●環境配慮型製品の開発による評判・企業価値向上 【ケミカル事業】 ●環境関連ビジネスに対する評判・企業価値向上	大	大	・サプライチェーン全体での気候変動問題への対応（サプライヤーの省エネ活動やCO2排出量管理サポート） ・未利用資源を活用した材料および部品の開発 （環境配慮型製品開発：環境材30%のプラスチックを用いた部品開発） ・ESG関連情報の開示拡充 ・ESG評価機関への対応 ・気候変動問題へのリスク対応と経営戦略の統合（取締役報酬への一部組み入れ）	サプライチェーンマネジメント https://www.moriroku.co.jp/sustainability/social/procurement/index.html 評価機関への対応　CDP https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/climatic_change/index.html
物理リスク （4℃シナリオに基づいて分析）	急性	異常気象の激甚化 （台風、豪雨、土砂等）	中期～長期	【グループ共通】 ●被災による修繕費用の増加 ●突発的な製造停止やサプライチェーンの断絶による、製造機能や生産量の低下・売上減少、代替品供給難航や材料のコスト増加	【グループ共通】 ●グローバルネットワークを活かした供給対応力の向上による調達網の強化	大	大	・BCPの構築による自然災害への備え （各拠点の状況に合わせた安全対策強化） ・太陽光発電+蓄電池活用による給電システム構築 ・無水トイレの一部導入	BCP https://www.moriroku.co.jp/sustainability/governance/risk/bcp.html 無水トイレの導入による水使用量の削減 https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/natural_capital.html
	慢性	平均気温の上昇	中期～長期	【グループ共通】 ●事業所での冷房使用が増加することでの電力使用量増加、コスト増加 ●気温上昇に伴う従業員の体調管理に係る時間の増加や生産性の低下 ●生物多様性の喪失	【ケミカル事業】 ●自然由来成分や持続可能なパッケージングなど、環境にやさしい製品の需要増 ●再生可能な材料を使用した化学製品や、低炭素製品の取扱いによる市場機会の増加 ●気候変動への対応を通じたレジリエンス強化と市場価値の向上	中	中	・再生可能エネルギー導入拠点の拡大 ・継続的な植樹活動とグローバルでの森林保全活動実施 ・エネルギーリサイクルの促進（無駄のないエネルギーの有効利用）	再生可能エネルギーの導入 https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/climatic_change/index.html 植樹活動 https://www.moriroku.co.jp/about_us/morilog/20241108.html 資源利用効率の把握 https://www.moriroku.co.jp/sustainability/environment/resource_recycling.html